

タイトル	教育学部国語教育専攻 「推薦入試」
評価のポイント	<p>【小論文】 コミュニケーション論に関する課題文に基づいて、「言葉によるコミュニケーション」を自分なりに定義することと、その理由の説明を求めた。課題の理解力、論理的な思考力、発想の豊かさ、文章表現力などを評価した。</p> <p>評価に当たっては、以下のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 問題文の内容をよく理解し、設問意図に沿った解答ができているか。・ 問題のテーマに関連した基礎的な知識をもっているか。・ 解答の記述に当たって正しい論理の運びができているか・ 解答の論旨が明快であるか。・ 適切な表現ができているか。具体的には、誤字・脱字はないか。文章に乱れはないか。・ 制限字数を満たしているか。極端に短い答案になっていないか。 <p>伊藤 進『〈聞く力〉を鍛える』講談社現代新書 2008年3月20日 pp.72-74</p> <p>【面接】 よく知られている古典芸能の一節を音読させ、それに関する問題を話題として取りあげ、質問に対する返答内容の的確さや表現の適切さなどを評価した。</p> <p>評価に当たっては、次の二点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 質問をよく理解した上で返答しているか。・ 高等学校までの国語の知識を十分に備えているか。